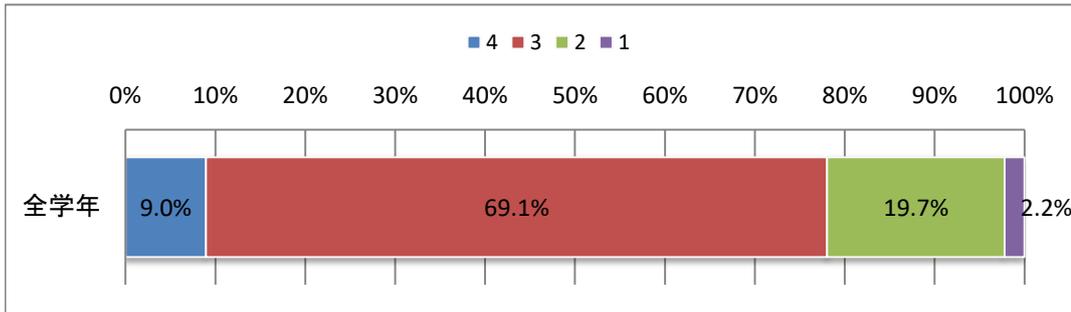


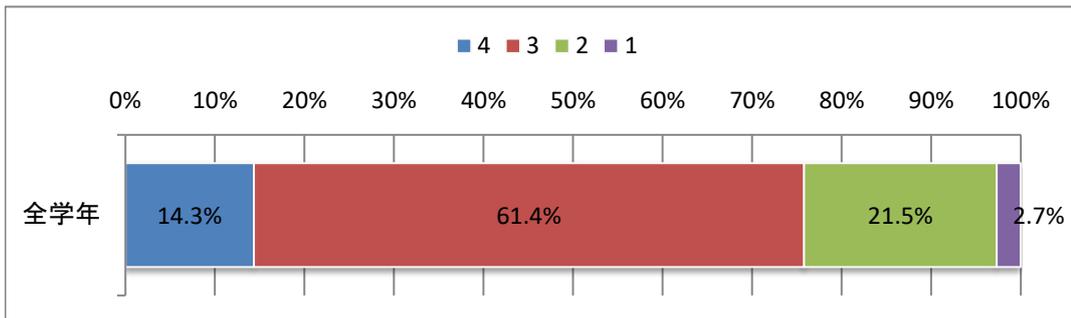
4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない 不明:わからない

①学校は、教育目標や教育活動をわかりやすく保護者に伝えている。



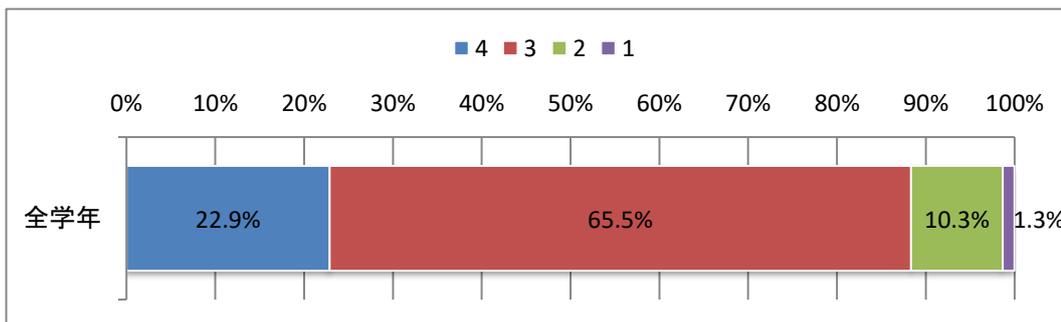
肯定 78.1%
学校通信等を利用し発信している。HPの活用改善の余地がある。

②学校通信や学級通信等の各種便りで学校での子どもの様子を知ることができている。



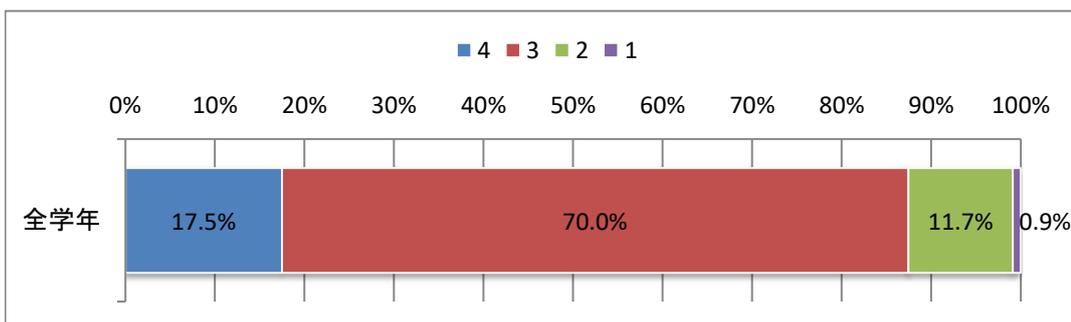
肯定 75.7%
学校・学年・学級等の各通信を使い学校での出来事を発信している。今後は、CSの各活動についてHPを活用していく。

③学校の職員は、協力して子どもの指導にあたっている。



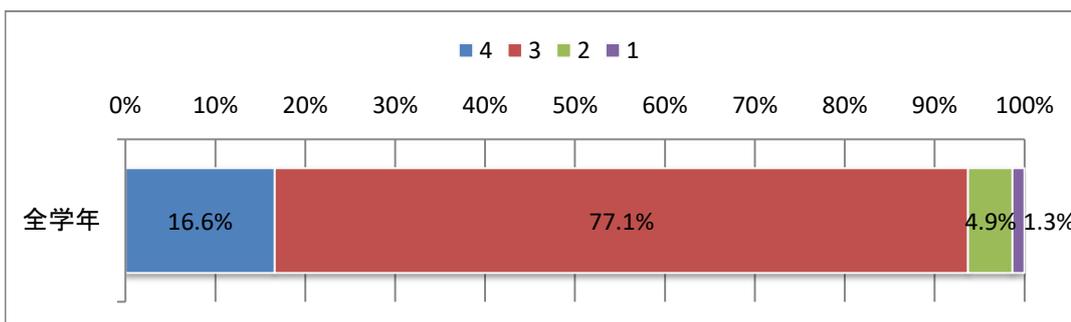
肯定 88.4%
登校していない生徒の朝の家庭連絡やアクション3に基づいたきめ細やかな連絡を全職員で今後も続けていく必要がある。

④学校は生徒の学習評価を子どもや保護者にわかりやすく説明している。



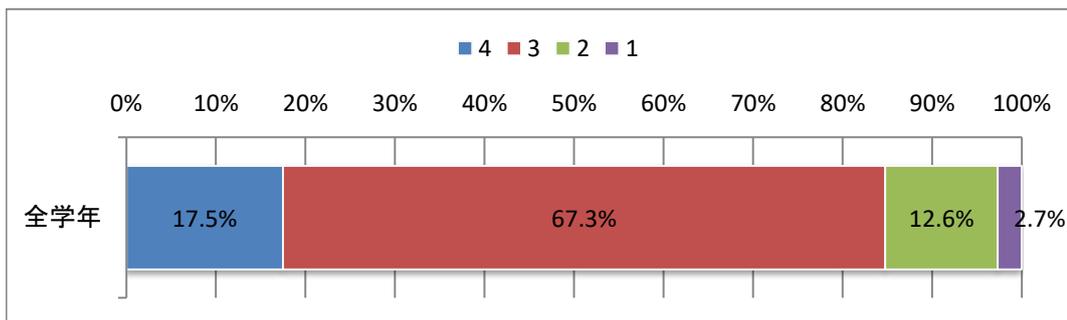
肯定 87.5%
授業開きの際に各教科共評価についてのガイダンス。さらに通知表配布時に評価規準表を配布している。細やかな説明を継続していく。

⑤学校は、子どもの学力や学習の様子を適切に評価している。



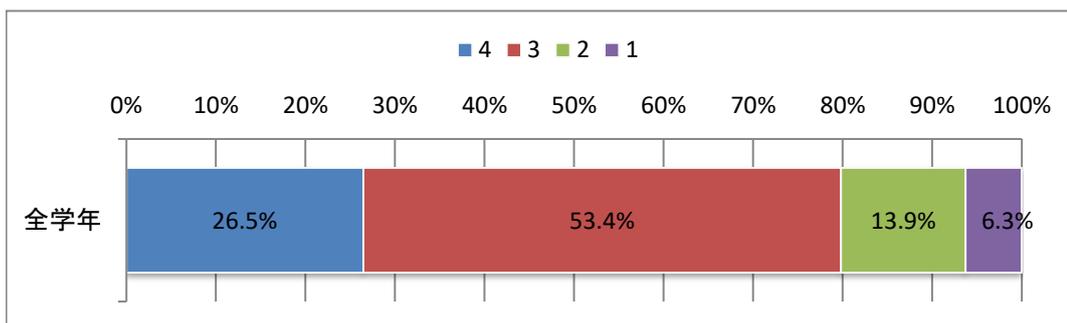
肯定 93.7%
評価の説明責任を各教科で果たせるように研修に取り組んでいる。それぞれの観点に応じた評価が行っているように研修を継続する。

⑥学校はいじめや悪い行動に適切に指導している。



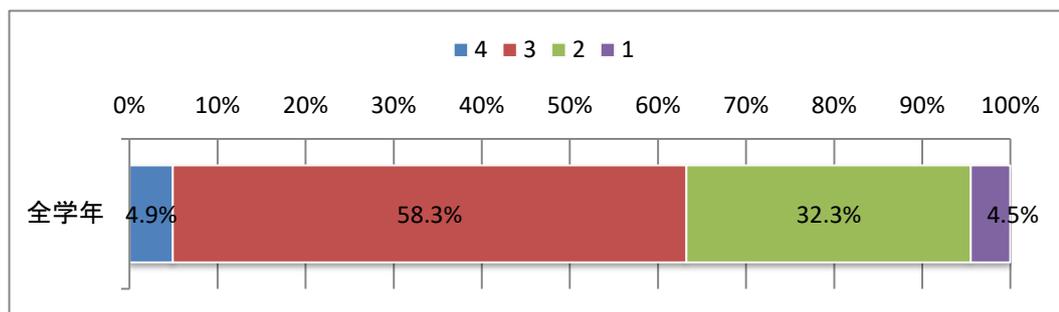
肯定 83.8%
一人の教師の対応で指導を行うのではなく、学年・全職員で指導に当たるようにしている。アンケートを活用しきめ細やかな指導を継続する。

⑦子どもは楽しんで(喜んで)学校に通っている。



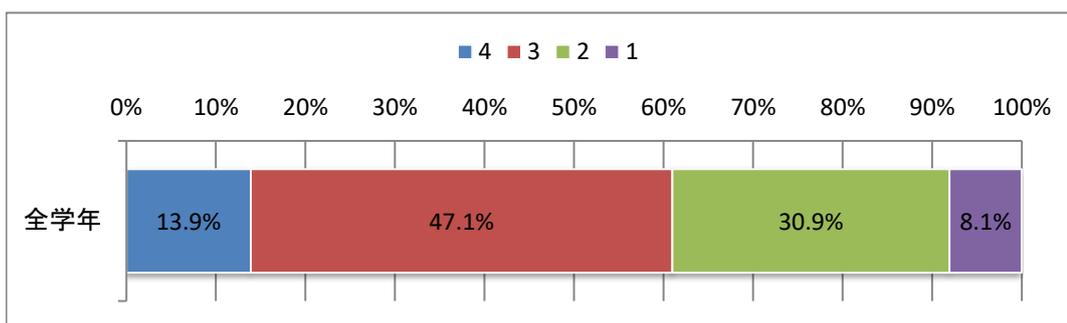
肯定 79.9%
コロナウイルスの影響で様々な学校行事が縮小・中止となった。行事や活動の意義を理解した上で行事に取り組ませたい。

⑧子どもは、授業がわかりやすいと言っている。



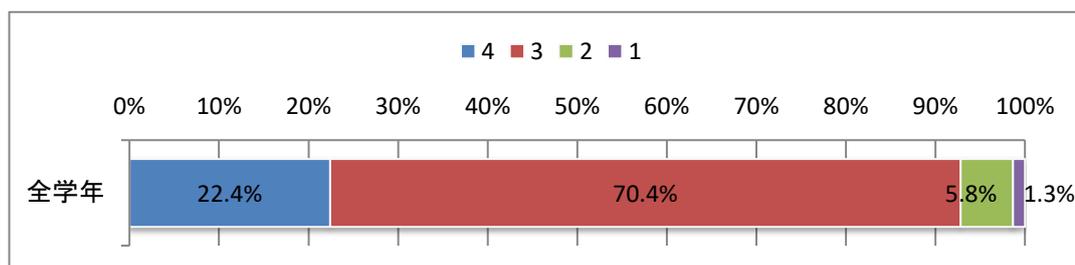
肯定 63.2%
学年が上がるにつれて授業の理解度が低下している。みやわかスタンダードを意識した授業改善に取り組む。

⑨子どもは、自分の考えを積極的に話すことができる。



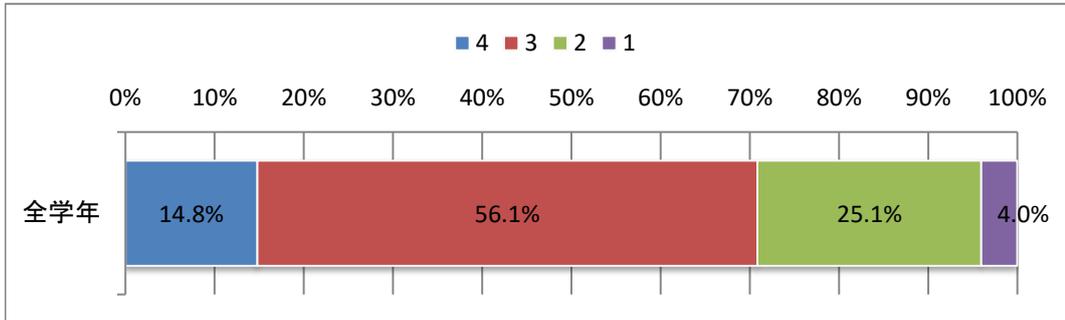
肯定 63%
自分の考えに自信を持つことができずに発言を控えている傾向が見える。多くの意見を聞くことで自分の考えが広がることを理解させていく。

⑩子どもは、人を思いやることができる。



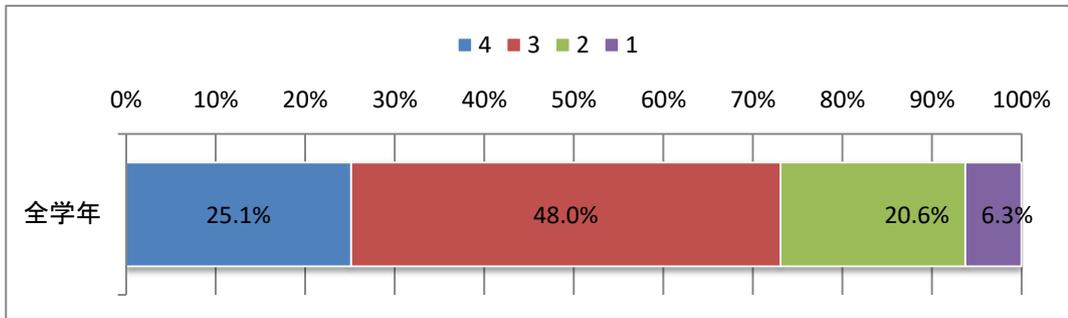
肯定 92.8%
道徳・学活・総合を通して人としての指導や日々の職員の声かけ等の効果が見えてきている。

⑪子どもは、何事にも根気強く最後まで取り組むことができる。



肯定 70.9%
 学校生活の様々な場面での声かけや指導を粘り強く続けていく必要がある。

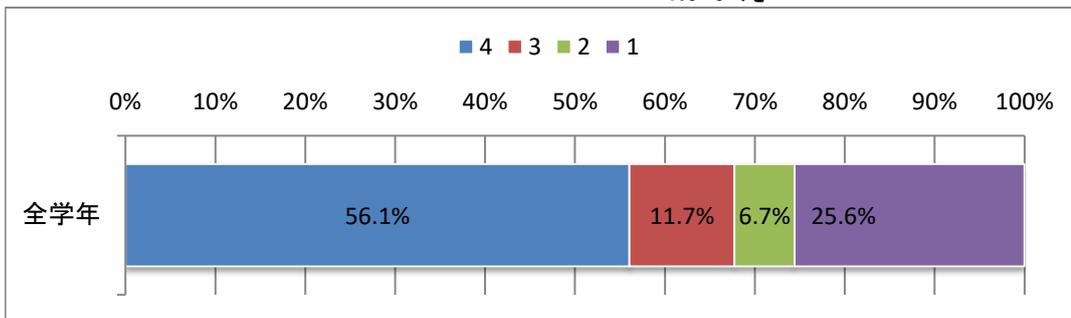
⑫家で子どもと学校のことをよく話している。



肯定 73.1%
 学年別に分析すると8年生で数値が最も低い数値となった。通信を使って学校の様子を細やかに知らせていく必要がある。

⑬子どもにスマホ、携帯を持たせている。

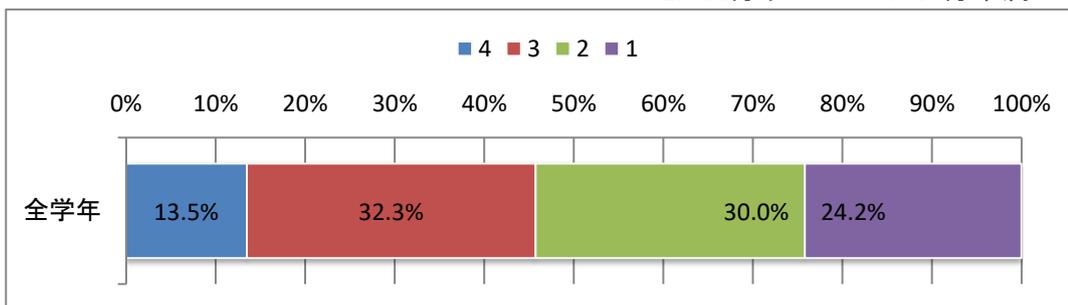
4.はい 3.キッズ携帯 2.保護者と共有 1.いいえ



所持している 67.8%
 今後も情報モラル教育に関して継続して取り組んでいく必要がある。

⑭子どもの学習時間(塾を除く平日)は

4. 2時間以上 3. 1時間以上 2. 30分以上 1. 30分未満



1時間以上 47.8%
 家庭学習強化週間では2時間以上の生徒が多く存在するが継続できていない。生徒会と連携した取組を作っていく。